

鳥羽の祭り

鳥羽は祭りの宝箱です。

にぎわいの行事だけでなく、先祖たちが祈りを込めてきた神事が、それぞれの地区に伝わっています。

春

3~5月

春は漁業の本番を前に安全や大漁を祈ったり、米づくりの開始にあたり豊作を願います。4月上旬の週末に開かれる鳥羽地区の大山祇神社と賀多神社の例大祭は、観光客もたくさん集まってきてにぎわいます。

おもな祭り 鉏形祭(岩倉町、4月第1日曜)、大山祇神社・賀多神社例大祭(ともに鳥羽、4月10日に近い土・日曜)、サバカッサリ(桃取町、5月第2土曜)



岩倉町の鉏形祭。



大山祇神社例大祭での天狗のおどり。

夏

6~8月

7月は日本各地の神社で牛頭天王と呼ぶ神にちなんだ天王祭が行われ、鳥羽の海浴いでは豊漁や船の安全を祈り、舞台上で演芸会を開くなどして楽しめます。8月は盆行事があり、おどりや念仏で先祖の霊をなぐさめます。

おもな祭り 赤崎祭(鳥羽、6月22日)、天王祭(安楽島町、7月14日前後)、金刀比羅宮鳥羽分社例大祭(鳥羽、7月第4金・土曜)、おいやれ(桃取町、8月31日)



安楽島町の天王祭。



桃取町のおいやれ。

鳥羽小

答志小

神島小

菅島小

加茂小

安楽島小

鏡浦小

弘道小

秋

9
~
11
月

子どもたちが家々をまわり縁起のいい歌を歌って商売繁盛を祈る行事が、昔はいくつかの地区でありましたが、今は畔蛸地区だけとなりました。ミトトリ神事は、伊射波神社にあみを広げて魚を投げるユニークな祭りです。

おもな祭り フクセ(畔蛸町、11月7日)、二船祭(国崎町、11月23日)、ミトトリ神事(安楽島町、11月23日)



畔蛸町のフクセ(山の神)。



国崎町の二船祭。

冬

12
~
2
月

寺や神社で前年の厄を落として新年をむかえる年越祭りが行われ、なかでも神島のゲーター祭は三重県指定の無形民俗文化財です。年の初めは、各地で大漁を祈ったり、農業や林業の成功を山の神に願う祭りがあります。

おもな祭り ゲーター祭(神島町、1月1日)、山の神(堅神町、1月7日)、八幡祭(答志町答志、旧暦1月17~19日近くの週末)



神島のゲーター祭。



答志町答志の八幡祭(神祭)。

消えていく祭り

坂手島の「棒ねり」の祭りは300年以上も続いていましたが、あとをつぐ若い人が足りなくなり、平成27年で休止されました。また、加茂五郷(白木、松尾、岩倉、河内、船津)の盆行事の一つ、火柱祭は、明治時代からは地区ごとにわかれて行い、平成24年の松尾町を最後に休止。神島のゲーター祭は、平成30年が中止になりました。



休止した坂手島の棒ねり。

※祭りの予定や休止の状況は、平成30年1月末現在のものです。

鳥羽小

答志小

神島小

菅島小

加茂小

安楽島小

鏡浦小

弘道小